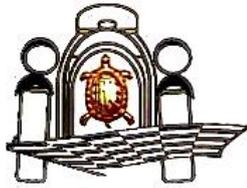


2022

21+1 Trofeo Tazio Nuvolari Hokkaido-Stage

終了報告書

**Trofeo
TAZIO
NUVOLARI**



2022-190-80-22
2022
NUVOLARI'S YEAR
SCUDERIA TAZIO NUVOLARI ASIA

Anche da Lassa continua a sorriderci perche c'e Chi viveva, vive e vivra dei tuoi sorrisi. / Milada Nuvolari.



Embassy of Italy
Tokyo



2022 21+1 Trofeo Tazio Nuvolari Hokkaido-Stage

《終了報告書》

実質 22 回目を迎えました今年の大会は“Tazio Nuvolari”生誕 130 周年の記念の年になります。又、例年後援を頂いています「駐日イタリア大使館」、Mantova に在ります本部の「ACI-Mantova」、「Museo Tazio Nuvolari」、「ACI Storico」の協力に加え、新たに「ASI/Automotoclub Storico Italia」にも後援を頂きました。そして、クラシックカー・イベント/ラリーを統括しています世界的な組織であります「FIVA」のナショナル・イベントとして認定された大会となりました。

2000 年に“Tazio Nuvolari”を知る日本の数少ないファンが集まって、日本の北の大地「Hokkaido」で始まりました大会です。

参加者の皆様、スタッフ、そして関係各位の皆様のご支援、ご協力を頂き、コロナ禍の前年には 40 台近くの参加者が日本全国から集まって頂けるような大会となり、大いに盛り上がり今後の励みになると確信をしましたが、突如として世界中を恐怖に陥れた「COVIT」が蔓延してしまい、私共の大会も大きな被害を受ける事となってしまい、開催中止も検討して参りましたが、感染対策を万全に施し、参加台数は大幅に少ない状況ではありましたが、北海道での唯一のクラシックカー・イベントの火を消すことなく開催をして参りました。

2022 年の今年は多少、沈静化してきましたので参加台数も増えるかと期待をしていましたが、まだまだ余波が継続していたようで、昨年同様な参加台数となってしまいました。道内は勿論ですが、道外からも貴重なクラシックカーにて参加して頂き、地方の大会としましては、価値ある大会と考え今年の大会の終了報告をさせていただきます。

来年こそコロナ禍前年のように日本全国からミュージアムでしか、見られないような貴重なクラシックカーと北海道に興味を持って頂ける多くの皆様に集まって頂けることを期待して、準備をしたいと思えます。



大会名称； 21+1 Trofeo Tazio Nuvolari Hokkaido-Stage

開催期日； 2022年7月15日・16日・17日(3日間)

開催場所； 北海道の道東方面を周遊

スタート会場； 池田町(帯広市隣町)・池田ワイン城駐車場

ゴール会場； 十勝スピードウェイ

Day-1/走行約330km

1st.ステージは曇り空の池田ワイン城をスタートして一路、屈斜路湖・摩周湖の近くの弟子屈町に向かい、同場所に新しくオープンした北海道の野菜をメインにしましたお料理にてランチ後、近くの弟子屈町文化センターの駐車場にて1回目の「PC」を実施、終了後、2nd.ステージは地元の旧車愛好家の皆様が待つ休憩地点の北見市“インフィールド・ワイナリー”に向かい、オープン前のワイナリーにて「A5」ランクの和牛を使ったハンバーグをご提供頂きましたのち、Day-1 ゴールの「屈斜路プリンスホテル」となります。夜の食事会では北海道産の食材を使ったメニューにて会食し、1日目のルートや味覚、北海道の自然を話題にて歓談と中間リザルト発表。

Day-2/走行約380km

2日目は曇り・小雨模様、そして走行距離が400km 近くになりますので、タイムスケジュール的に「PC」を実施せず、コマ図によるルート走行となります。

スタートは屈斜路プリンスホテルから風光明媚な風連湖脇を通過し、根室市内を通過して日本の最も東の納沙布岬を廻り、曇り空でしたが北方4島を観る事が出来ました。

根室市郊外の田園地帯の中に在る「農園レストラン・伊藤牧場/ATTOKO」にて根室地域の名物料理にてランチをとり、次の休憩地点は日本でも牡蠣で有名な厚岸の道の駅「コンキリエ」にて、牡蠣の蒸し焼きと花咲ガニの鉄砲汁を振舞って頂き、参加者の皆様には楽しんで頂きました。

厚岸漁港を観ながら、2日目のゴール、屈斜路プリンスホテルに向かいます。

夜の会食は海鮮をメインにしました食事、そして歓談にて参加者の皆様の交流が出来ました。

Day-3/走行約200km

2022年大会の最後の日には生憎と雨脚が酷い天候となりましたが、皆様には交通安全に注意して頂き、最終ゴールの「十勝スピードウェイ」を目指してスタートしました。途中のルートも小雨になったり、大雨になったりと天候が変わる中、無事にゴールしましたが、1台だけダイナモが故障してしまい、リタイヤとなりましたが、ドライバーとコドライバーの二方は無事にゴールしました。

全員が揃いましたので、仕出し弁当にてランチを取りましたのち、表彰式を執り行いました。

総合優勝は“FIAT 508”にてご参加の佐藤公夫ご夫妻、各クラスの上位入賞者を表彰いたしました。

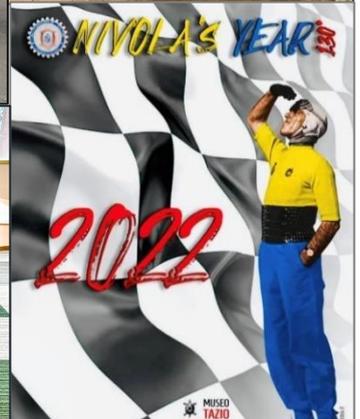
(リザルトは別紙参照にて)

表彰式は「FIVA Japan」の清水様のご挨拶と初参加の栗原様に締めて頂き、終了解散しました。

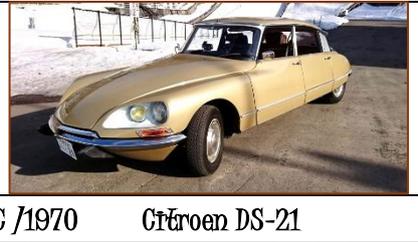
例年ですが“Trofeo Tazio Nuvolari Hokkaido-Stage”が最も重要視していますルート設定の参加者評価は、これまでの道央、道北、道南と違う北海道の自然が満喫できたし、長く続くストレートだけでは無く、田園の丘陵や峠を走るワインディングも設定できましたので、クラシッカーでのドライビングも楽しかったとお言葉を頂きました。

今年もご後援、ご協賛、ご協力を賜りました皆様に深く御礼を申し上げますと共に、お陰様をもちまして、毎年最大の目標の交通と自身の安全を達成し、終了しました。

Trofeo Tazio Nuvolari Hokkaido-Stage Gallery



2022 “Galleria del veicoli partecipanti”

 <p>Trofeo TAZIO NUVOLARI 2022-190-30-22 2022 NIVOLA'S YEAR SCUDERIA TAZIO NUVOLARI ASIA</p>	 <p>A / 1933 508 Coppa O'doro</p>	 <p>A / 1936 FIAT 508 Sport Spider</p>
	 <p>B /1956 OSCA S-950</p>	 <p>B /1956 Lancia Aurelia B-24 America</p>
 <p>B /1957 Lancia Aurelia B-20</p>	 <p>B / 1959 Alfa Romeo SZ</p>	 <p>B /1959 Lancia Flavia</p>
 <p>B /1964 Porsche 356SC Cabriolet</p>	 <p>B /1968 D- Fairlady SRL 311</p>	 <p>B /1969 Alfa Romeo Giulia 1300GT 3</p>
 <p>C /1970 Mercedes Benz 280 SL</p>	 <p>C /1970 Citroen DS-21</p>	 <p>C /1972 Alfa Romeo 1600 Junior Zagato</p>
 <p>C /1973 Lamborghini Jarama S</p>	 <p>C /1974 BMW 2002 Turbo</p>	 <p>1892 ~ 2022 e 2023 NIVOLA's Year</p>
 <p>C /1975 BMW B.O L CSI</p>	 <p>C /1986 Porsche 930 Turbo</p>	

Octavne